

1. はじめに

(1) マネジメントサイクルの推進

- 奈良県では、「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ことを県政の目指すべき姿とし、知恵と工夫を凝らして、直面する県政諸課題に取り組んでいます。
しかしながら、戦後、大阪のベッドタウンとして発展してきた本県は、他県に比べ、人口減少と高齢化が急速に進んでいきます。人口減少と高齢化の影響を緩和し、持続的に発展していくためには、将来の地域の発展に繋がる投資を積極的に行っていく必要があります。
- これらの状況をふまえ、将来の県勢発展に向けた施策を実現するため、これまでの県の取組による成果の検証を徹底しつつ、県民ニーズを踏まえた真に有効な施策の実現に努めていく必要があります。
- そのために、各種指標による現状分析や取組の評価、これらを踏まえた適切な指標による具体的な目標設定等を、予算編成や事業の執行に的確に反映していくというマネジメントサイクルの取組が必要となります。(右図参照)

(2) 「重点課題に関する評価」について

- 行財政運営の改善・見直しのために、「CHECK(評価)」はマネジメントサイクルにおける重要な要素です。今年度は、『主な政策集』(平成29年2月発行)で示した政策目標・戦略目標等について分析・評価を行うとともに、課題を明確化した上で今後の取組方針を整理し、平成29年度『重点課題に関する評価』としてとりまとめました。
- 今回の評価結果を踏まえ、重点的に取り組む施策を検討し、平成31年度の予算編成等に着実に反映させていきます。

行財政運営のマネジメントサイクル



マネジメントサイクルの流れ

